

平成 29 年度早池峰地域保全対策事業推進協議会 議事録

1 日時

平成 30 年 3 月 20 日 (火) 13 時 30 分～15 時

2 場所

プラザおでって 3 階特別会議室 (岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目 1 番 10 号)

3 出席者

【委員 (敬称略)】

鈴木 主計 (岩手県山岳協会)
八重樫 隆 (岩手県勤労者山岳連盟)
永田 京子 (代理出席) (早池峰フォーラム実行委員会)
柳田 千恵喜 (早池峰をきれいにする会)
上平 玲子 (早池峰の未来を考える女性の会)
八重樫 卓也 (会長) (岩手日報社編集局報道部)
堀川 弘美 (代理出席) (岩手南部森林管理署遠野支署)
柏木 健悦 (代理出席) (三陸北部森林管理署)
荒巻 理恵 (環境省東北地方環境事務所盛岡自然保護官事務所)
黒沼 寿夫 (代理出席) (花巻市大迫総合支所地域振興課地域支援室)
佐藤 純 (代理出席) (遠野市環境整備部環境課)
中村 博文 (宮古市川井総合事務所)
小笠原 誠 (岩手県環境生活部自然保護課)
富岡 治安 (代理出席) (岩手県県土整備部道路環境課)
高杉 政則 (代理出席) (岩手県警察本部生活安全部生活環境課)
藤尾 修 (県南広域振興局保健福祉環境部)
菊池 修一 (沿岸広域振興局保健福祉環境部宮古保健福祉環境センター)

【岩手県環境生活部自然保護課】

主任主査 千葉 隆一

【事務局員 (県南広域振興局保健福祉環境部環境衛生課)】

技術主幹兼環境衛生課長 佐藤 真澄
主任主査 田老 真帆
上席薬剤師 神山 隆行
主査 松本 文雄

4 内 容

(1) 開会

(2) 会長挨拶

平成 29 年度早池峰地域保全対策事業推進協議会の開催にあたり、御挨拶申し上げます。皆様には、お忙しいところ本協議会に御出席いただき、ありがとうございます。

また、早池峰地域保全対策につきましては、日頃から御協力をいただき心から感謝申し上げます。

ご案内のとおり、早池峰山はハヤチネウスユキソウを始めとする貴重な植物の宝庫であり、日本百名山にも選ばれている自然豊かな岩手を代表するすばらしい名峰です。

そのような中、一昨年には、河原の坊登山コースの一部が大雨により崩落したことに伴い、河原の坊登山道が通行禁止となり、現在も同じ状況のままとなっています。

また、早池峰山におけるシカによる食害被害が深刻化し、貴重な高山植物に与える影響や植生が変わる懸念が増してきているとの専門家からの指摘もあります。

昨日は、早池峰地域シカ対策部会が開催されており、それらの協議結果等を踏まえ、本協議会が開催されますことは早池峰地域の保全対策をすすめる上でとても有意義なことと考えられます。

つきましては、皆様から忌憚のないご意見等を賜りますよう、よろしく申し上げます。

結びに、早池峰の優れた豊かな自然を次の世代に引き継いでいくために、引き続き、御協力を賜りますとともに、皆様の一層の御活躍と御健勝を祈念いたしまして、簡単ですが御挨拶といたします。

本日は、どうぞ、よろしく、申し上げます。

(3) 議事

ア 協議

① 早池峰地域保全対策関係功労者表彰要綱の一部改正について

県南広域振興局保健福祉環境部の佐藤技術主幹兼環境衛生課長から説明があり、事務局（案）のとおり承認されました。

② 早池峰地域保全対策関係功労者表彰に係る審査について

県南広域振興局保健福祉環境部の佐藤技術主幹兼環境衛生課長から候補者並びに功績内容等について説明があり、審査の結果、事務局（案）（早池峰グリーンボランティアの大上 由美子様、岩手県交通株式会社様、有限会社峰南荘様）のとおり承認されました。

イ 報告

① 早池峰山河原の坊登山道調査結果及び今後の見通しについて

岩手県環境生活部環境生活部自然保護課の千葉主任主査から説明がありました。

【概要】

- ・ 平成 29 年 5 月 17 日（水）に早池峰山頂から河原の坊コース約 500m 地点（標高約 1760m 地点千丈岩上部）において現地調査を実施した結果、雪解けや降雨によるものと思われる崩落直後の箇所が多数確認され、崩落が続いている状況であった旨の報告がありました。
- ・ 降雨により堆積土砂に水が浸透し、保水量が限界に達すると、透水性の低い地山との境界線で斜面崩落が発生する旨の調査結果（早池峰山河原の坊登山道崩落調査（崩落メカニズム）、岩手大学大河原教授）が示されました。
- ・ 依然として非常に危険な状態であることから、来シーズン以降も当分の間閉鎖措置を継続するとともに、自然公園保護管理員による現地調査を毎年度行うほか、専門家や自然公園保護管理員等から情報を収集し、同登山道の状況把握に努める旨の説明がありました。

② 早池峰地域自動車利用適正化について

花巻市大迫総合支所地域振興課地域支援室の畠山委員代理黒沼様から説明がありました。

【概要】

- ・ 早池峰登山シャトルバスについて、来年度も岩手県交通株式会社と有限会社ファミリー観光岩手との共同で運行する旨の説明がありました。
- ・ 平成 29 年度については、昼間の時間帯で本数を減らして運行したが、悪天候の際に下山を急ぐ登山者が、バスを長時間待つこととなったため、平成 30 年度については、運行本数を一昨年と同様の本数に戻す方向で調整している旨の報告がありました。

③ 早池峰山山頂避難小屋あり方について

岩手県環境生活部環境生活部自然保護課の千葉主任主査から説明がありました。

【概要】

- ・ 平成 29 年度については、山頂避難小屋及び登山道に携帯トイレブースを設置したことや携帯トイレ回収箱を岳駐車場他 3 箇所に設置したこと、携帯トイレの普及促進に取り組んだ旨の説明がありました。
- ・ 平成 30 年度も引き続き、山頂避難小屋のトイレを携帯トイレ専用にすることや携帯トイレの普及促進に努める旨の説明がありました。

④ 早池峰地域シカ対策について

岩手県環境生活部環境生活部自然保護課の千葉主任主査から説明がありました。

【概要】

- ・ 早池峰シカ監視員の調査結果として、シカの痕跡（糞、通り道、足跡）並びに高山植物の食痕が多く確認された旨の説明があった。また、小田越登山道2合目に設置したカメラ映像によると高山帯にも行動範囲を広げていることが判明した旨の報告がありました。
- ・ 平成29年度早池峰山小田越・河原の坊登山道シカ食痕調査結果（岩手県立博物館鈴木学芸員）として、早池峰山河原の坊登山道で食痕が認められた植物が、50種類認められ、急速に裸地化が進行しており、早池峰山小田越登山道でも21種類の食痕が認められた旨の報告がありました。
- ・ 平成29年度に、県では、一斉捕獲や除雪による捕獲環境の整備、鳥獣保護区等の見直し、シカ監視員の配置を実施した旨の説明がありました。

⑤ 早池峰地域保全対策について

県南広域振興局保健福祉環境部の佐藤技術主幹兼環境衛生課長から説明がありました。

【概要】

- ・ 平成29年度は、早池峰クリーン&グリーンキャンペーンや高山植物盗採防止パトロール、登山道パトロール、早池峰地域移入植物駆除作業等を実施した旨の説明がありました。
- ・ 平成30年度も引き続き、早池峰クリーン&グリーンキャンペーン等の取組を実施し、早池峰地域対策に万全を期していく旨の説明がありました。
- ・ 平成29年度との変更点として、仮設トイレ設置期間の延長することや高山植物盗採防止パトロールの際に、高山植物の盗難被害と併せてシカによる食害についても重点的に調査する旨の説明がありました。

①～⑤について、質疑応答が行われました。

【質疑応答】

○八重樫会長（岩手日報社編集局報道部）

説明をいただきましたが、御質問や御意見はありますでしょうか。

○上平委員（早池峰の未来を考える女性の会）

平成29年度の登山者数と北側からの登山者数を教えてもらいたい。

資料7の13ページを見ると被害を受けた植物の種類が減っているように見えますが、被害が少ないのではなく既に単純化が進んでおり、見られる植物の数が減ってきていると思われませんが、いかがでしょうか。

○千葉主任主査（環境生活部自然保護課）

平成29年度登山者数については、14,490人でした。北側からの登山者数については、

把握しておりません。参考までに、平成 28 年度の登山者数については、14,464 人でした。

被害を受けた植物の種類が減っていることについて、岩手県立博物館の鈴木学芸員によると解釈は難しいとの見解を示されていましたが、上平委員の見解でよろしいのではないかと思います。

○望月委員代理永田様（早池峰フォーラム実行委員会）

早池峰山小田越登山口に仮設トイレを設置していますが、恒久トイレを設置すべきではないかとの意見が早池峰山山頂避難小屋あり方部会で示されましたが見解を伺います。

○千葉主任主査（環境生活部自然保護課）

遠野市が管理している施設であるため、遠野市から説明をお願いします。

○新田委員代理佐藤様（遠野市）

遠野市自然公園保護管理員詰所については、国や県から補助金の交付を受けて、遠野市が設置したものです。老朽化に伴い建て替えが必要と考えていますが、市の予算では設置が困難であるため、県と協議しているところですが進展していない状況です。

現在、仮設トイレで問題なく順調なので、仮設では駄目だということにもなっていないように思われます。遠野市自然公園保護管理員詰所にもトイレが併設されていますので、仮設トイレと併せて現在のところ順調にしているのではないかと考えています。

○藤尾委員（県南広域振興局保健福祉環境部）

私も、早池峰山山頂避難小屋あり方部会に出席し議論を聞いておりました。

昨年度、当部では、早池峰山河原の坊登山道の閉鎖が長期化し、早池峰山小田越の仮設トイレ使用量が増加すると想定し、急きょ仮設トイレを増設しました。

河原の坊登山道の復旧の見通しと併せて、早池峰山小田越の仮設トイレや恒久トイレのあり方を検討していく必要があると思います。同部会ではこのようなことが話し合われたと記憶しています。

○望月委員代理永田様（早池峰フォーラム実行委員会）

遠野市の説明について、本当に状況を把握しているか疑問に思います。遠野市自然公園保護管理員詰所に併設されているトイレについては、老朽化しており大変使いづらい状況になっています。また、仮設トイレを使用したくない登山者の行列が遠野市自然公園保護管理員詰所前にできることもあります。恒久トイレを設置することが望ましいのですが、仮設トイレでうまく回っているのではないかとと言われると何とも言えない思いです。県や遠野市では、仮設トイレが本来のあり方とみているのでしょうか

か。過去 20 年近くも議論になっては消えということを繰り返しているのではないかと思います。本気で取り組んでいるようには見えないのですがいかがでしょうか。今すぐどうなるものではないですが、予算のところまでしっかりと議論してもらいたいと要望します。

○上平委員（早池峰の未来を考える女性の会）

仮設トイレがうまく回っているというのは、見解の相違だと思えます。ボランティア活動等を通じて、何度も現地に行っている者から見れば、すれすれのところで回っているとといった印象を持っています。遠野市自然公園保護管理員詰所のトイレは、女性にとっては大変使いにくいので、改良しなければならないのではないかと考えています。県や遠野市でもっと本気で考えてもらいたいと思えます。

○千葉主任主査（環境生活部自然保護課）

早池峰山河原の坊登山道が当分の間閉鎖ということで、早池峰山山頂避難小屋あり方部会で検討したいと思えます。登山者の利便性を考慮してより良い方向で検討していければと考えています。今後とも御意見を頂戴したいと思えます。ありがとうございました。

○八重樫会長（岩手日報社編集局報道部）

女性の方には使いづらいとの意見もありましたので、河原の坊登山道の今後の見通しも踏まえながら県自然保護課において検討願います。

○藤尾委員（県南広域振興局保健福祉環境部）

昨日、早池峰地域シカ対策部会が開催されて、シカ対策について調査を実施すると説明がありましたが、早池峰山の豊かな貴重な自然を次の世代に引き継いでいくことは私たちの重大な責務だと考えています。シカによる食害が認められたという報告がありましたが、貴重な高山植物に与える影響や植生に与える影響が懸念される状況にあり、今説明があった調査のみではなく、今年度の取組に加えて一歩でも二歩でも新たな取組を実施していかないとシカによる食害が進み、やがて取り返しがつかないことになってしまいますので、後手にならないように対策を強化していく必要があると思えます。

○望月委員代理永田様（早池峰フォーラム実行委員会）

シカによる食害について、現地を見ないと実感がないと思えますが、早池峰山河原の坊登山道周辺では、食害が深刻化しており、手をこまねいては手遅れになってしまうと危惧しています。今年は予算が付かないからと先延ばしするのではなく、少しでも対策を実施すべきではないかと思えます。

○鈴木委員（岩手県山岳協会）

南アルプス千丈ヶ岳でシカ対策用の柵を設置したとの新聞記事を読みましたが、その効果や結果がわかれば教えてもらいたい。

○小笠原委員（環境生活部自然保護課）

シカの食害により、裸地化が進行していたようですが、10年程経って元の状態に戻ったとの報告内容であったと記憶しています。ただし、全体を囲うことはできないので、ポイントポイントで守っているという内容でした。

○八重樫委員（岩手県勤労者山岳連盟）

高さはどのくらいありますか。

○小笠原委員（環境生活部自然保護課）

約2メートルあります。

○藤尾委員（県南広域振興局保健福祉環境部）

網の高さについて、いろいろなところでシカによる農業被害や牧草地被害がありますが、シカは跳躍力があり3メートルくらいは飛び越えることができると聞いたことがあり、2メートル程度では飛び越えてしまうので、できるだけ網の高さを高くしなければならぬのではないのでしょうか。他県の状況等を調査するなどし、適正に対応してもらいたいと思います。

○小笠原委員（環境生活部自然保護課）

それについては、南アルプス千丈ヶ岳でのノウハウがあるので、活用していきたいと思います。

○上平委員（早池峰の未来を考える女性の会）

シカの防護柵については、すぐにでも実施してもらいたいと思います。

シカの捕獲も同時に進められていることは承知していますが、捕獲したシカの利用も進めてもらいたいと思います。利用が進めば、狩猟意欲にもつながると思いますので、検討をお願いします。

○小笠原委員（環境生活部自然保護課）

放射能の基準値100ベクレル/kg以上の検体が出てきている状況でありますので、流通に載せられないというのが実情のようです。

○望月委員代理永田様（早池峰フォーラム実行委員会）

私が提供した南アルプス千丈ヶ岳をご覧いただきたいのですが、シカによる被害が完全に元に戻るといったことはないとされています。近場では、ニッコウキスゲで有名な尾瀬でも5、6年前からシカ食害への対策を実施されているので、参考にしてはどうかと思います。尾瀬では、尾瀬といえばニッコウキスゲといわれるあのニッコウキスゲが、2012年にシカによって食べつくされてしまいました。現在では、登山者の安全を考慮したうえで、日中でもシカの捕獲を実施しているようです。

○柳田委員（早池峰をきれいにする会）

井上早池峰シカ監視員（宮古市）は、ワナでシカを捕獲し効果を上げているので、ワナでの捕獲を積極的に推進してはいかがでしょうか。

国有林とも関係しますので、森林管理署と連携して対策を実施してもらいたいと思います。

○野藤委員代理柏木様（三陸北部森林管理署）

当署では、樹木の樹皮や苗木（新芽）が食べられる被害をなくすため、猟友会等と連携し、平成30年より囲いワナでの捕獲を実施予定です。

○小笠原委員代理堀川様（岩手南部森林管理署遠野支署）

当署でも、囲いワナによる捕獲を実施するとともに、猟友会ならびに遠野市からの要望により林道の除雪を実施し、シカの捕獲しやすい環境を整備しました。目的は、造林木を保護することが目的ですので、高山植物の保護は行っていない状況です。

○小笠原委員（環境生活部自然保護課）

県でも、年間1万頭を目標に捕獲を実施しており、平成28年度は県内で10,999頭捕獲しました。森林管理局の調査により越冬地を把握していますので、猟友会に集中的に捕獲してもらうなど、高山植物の保護とともに捕獲も積極的に実施したいと考えています。

○鈴木委員（岩手県山岳協会）

携帯トイレサポート'早池峰に係る携帯トイレ販売の収支について、情報公開をされていますでしょうか。

○神山上席薬剤師（県南広域振興局保健福祉環境部）

情報公開はされていないと聞いています。

○鈴木委員（岩手県山岳協会）

携帯トイレサポート'早池峰の各会員には、報告しているのでしょうか。

○神山上席薬剤師（県南広域振興局保健福祉環境部）

会員への報告についても、当方では把握しておりません。

ウ その他

○望月委員代理永田様（早池峰フォーラム実行委員会）

ユネスコ・エコパークの資料を配布しましたので、ご覧いただきたいと思います。

早池峰フォーラム実行委員会では、早池峰エコパークの実現に向けて行政機関や地域住民の理解醸成に取り組んでいきたいと考えていますので、御協力をお願いします。

○上平委員（早池峰の未来を考える女性の会）

本協議会については、早池峰地域保全に関する総合的な協議会ではありますが、携帯トイレの普及活動の中心は、早池峰グリーンボランティアや携帯トイレサポート早池峰であり、5月から10月までの間、携帯トイレの販売や販売箱の補充のため、何度も足を運んで活動を実施していますので、そのような方々の声を本協議会に反映させるため、構成メンバーに入れてもらえないか思います。

○藤尾委員（県南広域振興局保健福祉環境部）

早池峰地域保全対策については、トイレの問題やシカの食害問題、早池峰山河原の坊登山道閉鎖への対応など、これまでにないような様々な課題がありますが、これらの課題等について協議する最も重要な場が本協議会であると思います。早池峰山河原の坊登山道閉鎖への対応については、早池峰山河原の坊登山道調査委員会で検討等を行っておりますが、本協議会と早池峰山河原の坊登山道調査委員会との位置付けが明確になっていません。早池峰山河原の坊登山道に係る今後の動向については、各部会と密接な関連があり、また各部会での検討内容についてもそれぞれ関連性があることを踏まえ、本協議会や早池峰山河原の坊登山道調査委員会、各部会のあり方を見直す良い機会ではないかと思います。

先ほどの上平委員の御意見も含めて、本協議会を運営していく必要があるのではないかと思いますし、そうすることにより早池峰地域保全対策がさらに充実したものになるのではないかと思います。

先ほども申し上げましたが、世界に誇る早池峰地域の豊かな自然を次の世代に引き継いでいくために本協議会、河原の坊登山道調査委員会、各部会のあり方について見直すことを強く要望します。

○八重樫委員（岩手県勤労者山岳連盟）

早池峰にゴミは似合わない実行委員会と連携し、早池峰山頂からのし尿の担ぎ下ろしを実施し、数年前から携帯トイレの普及に移行しましたが、携帯トイレの普及に関するビジョンをもって活動している早池峰にゴミは似合わない実行委員会も本協議会の委員に入れてもよいのではないかと思います。

○神山上席薬剤師（県南広域振興局保健福祉環境部）

本協議会委員の構成について、県自然保護課と協議しながら、検討していきたいと考えています。

○八重樫会長（岩手日報社編集局報道部）

ただ今の御意見を踏まえ、早池峰山は喫緊の課題が山積していますので、協議会や河原の坊調査委員会、部会のあり方県自然保護課がリーダーシップをとり、是非とも御検討願います。

(3) 閉 会